○○○○○○○○○○○○○○○タイトル

○○○○○○○○○○○○○○○○○副題

静岡　太郎　（○○大学　○○部局名）

1. **問題と目的**

　本論文の目的は，○○。本文のフォントサイズは10.5p。フォントは，MS P明朝。句読点は，「（，）全角カンマと（。）丸」に統一。見出しに付いては，太字(ボールド)利用。

1. **方法**

 **2.1.　見出し**

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

 **2.2.　見出し**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○脚注は，Noをつけて文末へまとめる○○○○○○[1]。

1. **結果**

 **3.1.　見出し**

 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（図1）。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。表1は○○○○○○○○○○。



図1　図のタイトル（テキストボックス利用可）

表4　クラスサイズ（受講生数）と各項目の相関係数



**4．　考察**

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**5．引用文献**

Aleamoni, L. M. 1999 Student rating myths versus research facts from 1924 to 1998, Journal of Personnel Evaluation in Education, 13, 2, 153-166

藤田哲也　2005　「動機づけ理論をふまえた授業運営」溝上慎一・藤田哲也編著『心理学者、大学教育への挑戦』ナカニシヤ出版,79-114.

**脚注**

1. 脚注はここにまとめる。フォントサイズ10.5p。
2. 図のタイトルは図下。
3. 表のタイトルは図上。
4. 図表が2段をまたいでもよい。その場合は，テキストボックスなどを利用すること。
5. 図表が多い場合，1pを図表専用に利用することも可能。